

事務事業 No./名 称	■サービス部門 生涯-14 史跡買収事業				ザイムスコード及び個別事業名			
	□支援部門				169	史跡買収事業		
主管課	文化財課	関連課	世界遺産登録推進担当					
分野名	歴史環境							
目標 (目標値)	国指定史跡の公有地化を図る。 買収率100%							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考				
	人 口	176,669人	176,484人					
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状 況	決算値	226,049千円	194,923千円	国・県補助金 ≪209≫180,394 ≪218≫3,985	指標と評価			
	(国・県)	184,379千円	157,898千円		指標	史跡買収面積		
	(負担金等)				評価	○		
	(一般財源)	41,670千円	37,025千円					
	人員配置数	0.5人	0.5人					
	人件費	4,813千円	4,749千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	230,862千円	199,672千円		20年度	2,971㎡	1,445㎡	
	市民1人当 りの経費	1,307円	1,131円		21年度	22,455㎡	3,373㎡	
	対象者1人 当りの経費				22年度	17,207㎡		
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					23年度	43,067㎡	
						最終年度 (25年度)	655㎡	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 史跡を買収した後の史跡整備及び維持管理には多大な経費とともに人員を要する。 買収要望には、厳しい財政状況からすぐに応じられないのが現状であり、現状変更の許認可等の 対応に苦慮している。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 実施計画の中で計画的な買収を行った。 史跡の維持管理(草刈り、枝払い等)を(財)鎌倉風致保存会やシルバー人材センター、中学校との 協働により行った。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 随時の買収要望には応じられていない。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 計画的な買収を行っていく。 実施計画の買収計画地以外にも文化財保護法による規制により、随時買収要望があり史跡の保 護・保存及び整備上重要な土地については、緊急で購入しなければ取得が極めて困難になる等、事 業の推進に支障がでる場合があることから、随時買収計画を見直していく。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	今後実施計画に基づき、継続して計 画的な買収を行っていく必要がある。計 画期間内であっても他の土地を緊急で購 入しなければ、将来にわたり取得できな く場合や許認可の指導に苦慮する場 合があり、必要に応じて計画を見直し ていく必要がある。		評価結果	改善の必要性	史跡の保護・保存及び整備・公開・活 用のため、重要な史跡地内の土地を継 続的・計画的に買収を行っていかなけれ ばならない。		
B	有			B	有			
課長名		永 井 正 憲		部名・部長名		植 松 芳 子		